Pythonで微分積分の基礎を学ぼう

みんなのPython勉強会 #81 辻 真吾 (@tsjshg) 5/12, 2022

お前、誰よ? (自己紹介)

- ・ 大学の研究所(東京大学先端科学技術研究センター)に勤めています
 - エネルギーシステムとバイオインフォマティクス
 - ・応用データサイエンス分野を創設するため協力してくれる方募集中です
- ・ 2010年に「Pythonスタートブック(初版)」を出版してから技術書を 何冊か執筆しています
- ・ 5月8日(日)の母の日に母の墓参りに行ってきました(東京・谷中)
- www.tsjshg.info

今日は監修した本の話



著者紹介

- ・ 井口和之 (いぐちかずゆき)
- ・ 某大手素材メーカーに勤務するエリートエンジニア
- 仕事でPythonを使っている
- ピアノも上手

技術評論社 Python x Mathシリーズ2冊目!





第1章 SymPyの基礎

- 1.1 文字式の計算
- 1.2 文字式への代入
- 1.3 式の因数分解と展開
- 1.4 方程式を解く

第2章 関数とグラフ作成

- 2.1 関数とは
- 2.2 関数のプログラム
- 2.3 関数のプロット
- 2.4 いろいろな関数とグラフ

最初は準備

SymPyを使ってプロットもやってもらう

第3章 極限値

- 3.1 極限とは
- 3.2 極限値とは
- 3.3 収束と発散
- 3.4 SymPyを使った極限値の計算
- 3.5 関数の極限
- 3.6 自然対数の底e
- 3.7 円周率の計算

極限・・・

大丈夫SymPyがやってくれます

第4章 微分の基本

- 4.1 微分を理解するために
- 4.2 データのプロットと変化率
- 4.3 平均変化率
- 4.4 直線の方程式
- 4.5 局所的な2点を通る直線
- 4.6 微分係数
- 4.7 微分する 導関数
- 4.8 導関数の計算
- 4.9 高階微分
- 4.10 積・商の微分
- 4.11 関数の微分

第5章 微分を使う

- 5.1 接線の方程式
- 5.2 関数の増減 極大と極小
- 5.3 関数の近似
- 5.4 テイラー展開

第6章 積分の基本

- 6.1 積分の2つの役割
- 6.2 和の計算の役割
- 6.3 微分の逆演算としての役割
- 6.4 不定積分
- 6.5 さまざまな関数の積分
- 6.6 面積の計算
- 6.7 モンテカルロ法

データサイエンス時代を意識した微分積分の本を目指しました(4.2節) 微分は引き算、積分は足し算、差分を積み上げれば元にもどるのあたりまえ

第7章 多変数関数の微分

- 7.1 2変数関数
- 7.2 偏微分
- 7.3 全微分
- 7.4 2変数関数の極大・極小
- 7.5 最小二乗法

偏微分の話とその応用としての最小二乗法

第8章 微分方程式

- 8.1 微分方程式とは
- 8.2 微分方程式を解く
- 8.3 運動方程式を解く
- 8.4 生物の増減を解く

最終目標を微分方程式を解くことにした

SymPyを使った数式処理と可視化で微分積分の基礎を わかりやすく説明した本 ところでみなさん、数学は好きですか?

嫌い? あたりまえですよね。

たとえば極限

$$\lim_{x \to 0} \frac{\sin x}{x}$$

わからん・・・

```
from sympy import symbols, limit, sin
x = symbols('x')
limit(sin(x) / x, x, 0)
```

計算機にやってもらえばいいんです

微分方程式

微分を使って書かれた方程式で関数が答えになる

$$\frac{dx(t)}{dt} = -x(t)$$
わからん・・・

```
from sympy import init_printing, symbols, Eq, Function, dsolve init_printing(use_latex='mathjax')  

t = \text{symbols}('t', \text{read=True}) \\ x = \text{Function}('x') \\ \text{diffeq} = \text{Eq}(x(t).\text{diff}(t), -x(t)) \\ \text{diffeq} 
\frac{d}{dt}x(t) = -x(t) \\ \text{dsolve}(\text{diffeq}, x(t)) \\ x(t) = C_1e^{-t}
```

計算機にやってもらえばいいんです

数学の教育を最初からコンピュータを使った方法 に変えた方がいい!

なぜなら

- ・ 数学はわかりにくい
 - ・抽象度が上がり、概念が複雑になる
- わからなくなると楽しくなくなる
 - これをなるべく減らしたい
- ・理屈を説明する前に結果を見せる
 - なぜそうなるの?から入れるので、興味を持続できるのではないか

もう1つ大きな理由

- ・ データサイエンス全盛の時代にあって数学の重要性が 増している
- ・概念の理解するとき
 - ・訓練を伴う反復練習には効果がある
- ・大人は時間がない
 - ・学生時代と違う方法で学ぶという選択肢はありかと